

Research Papers : Muslims in Japan No.20

日本のムスリム人口 1990–2020 年

Estimate of Muslim Population in Japan, 1990–2020

店田 廣文

Tanada Hirofumi

早稲田大学名誉教授

Institute for Multi-ethnic and Multi-generational Societies

Tokyo, Japan

October 2021

多民族多世代社会研究所

〒202-0001 西東京市ひばりが丘 1-16

Abstract

Estimate of Muslim Population in Japan, 1990-2020

TANADA Hirofumi

(Professor Emeritus, Waseda University)

(Institute of Multi-ethnic and Multi-generational Societies)

In this paper, I will show the past and present status of Muslim population in Japan from 1990 to 2020. The author published the estimated Muslim population in the world and Japan for the year 2000, 2011 and 2019/2020 before. Regarding the Muslim population in Japan at the end of 2019, the estimated population was about 230 thousands. Latest estimate will be conducted making use of “Statistics on the Foreigners Registered in Japan” at the end of the year 2020 and other materials. Especially, in this paper, I will describe the status of Muslim population from 1990 to 2020 in Japan in details.

Keywords: Muslim, Population, Estimate, World, Japan

序

日本社会とイスラーム社会との本格的な交流は、幕末から明治初期の頃にはじまった。それから一世紀以上が経過し、2010 年末には日本に居住しているムスリム人口は、10 万を超える規模にまで増加した。¹ その後も増加が続き、筆者の推計によれば、2019 年末時点で約 23 万に達した。一方、国内に開設されたイスラーム礼拝所（モスク）は、戦前には 3 箇所、戦後の 1980 年代はじめに至るも 4 箇所に過ぎなかったが、2021 年 9 月現在、モスクの数は 110 を越えている。²

本稿では、ここ 30 年間の人口推計の推移を始点（1990 年）、中間点（2005 年）、終点（2020 年）の 3 時点について提示する。1990 年の日本社会においてモスクとして機能していたのは、神戸モスク、都内のバライ・インドネシア礼拝所、アラブ・イスラーム学院の広尾モスクの 3 箇所に過ぎなかった。しかし、当時は、バブル経済の活況にともなって、イランやパキスタンなどからムスリム労働者が 10～20 万人にも流入していた頃であった。1991 年には、ニューカマー・ムスリムらによって、埼玉県春日部市に一ノ割モスクが開設、外国人ムスリムが次第に増加し、その後のモスク建設ラッシュへとつながった。人口増の要因として考えられるのは、在留資格を有する外国人ムスリムの増加である。これに伴って、日本人との結婚、仕事・研究等を契機として、いわば「定住」するムスリムが増加した。また、「定住」するわけではないが、仕事や留学でやってくるムスリムも増加し、中期的に滞在するムスリムが増加したことも大きい。とりわけインドネシア国籍のムスリムの場合は、技能実習資格での来日が増加したのである。

本稿では、1990 年から 2020 年までのムスリム人口を対象としたが、2020 年からのコロナ禍によって在留外国人数も大きく影響を受けることになった。因みに、2020 年 12 月末の在留外国人統計を参照すると、在留外国人数は約 289 万であり、前年の 2019 年末現在には約 293 万であったから、約 4 万人の減少となった。

この報告書では、1990 年、2005 年、2020 年の 3 時点の日本のムスリム人口に関するデータをより詳しく取り上げる事として、都道府県別、年齢別、在留資格別などのより詳細なデータを提供する事とした。各項目の詳細は、本文を参照していただきたい。推計は、前稿までと同様の方法でおこなう。主たる資料は、法務省のウェブページにある「在留外国人統計」およびそれ以前の「登録外国人統計」から得られる国籍別・在留資格別の在留外国人・登録外国人数である。これを利用して外国人ムスリムおよび日本人ムスリムの人口について推計した。

<付記>

本稿の文末には、イスラーム礼拝所である、モスク（マスジド）の設立状況に関するリストを掲載した（2021 年 9 月末現在）。項目は、モスク名、所在地（都道府県と市区町村）、開設年次である。

1. 日本のムスリム人口 これまでの推計値概観

日本人として最初にムスリムになったのは野田正太郎といわれ、1891年のことである。19世紀末には神戸や横浜にインド系ムスリム商人が居住するようになり、その後、日本人ムスリムとして山岡光太郎、田中逸平、有賀文八郎などの改宗者が20世紀前半には知られている。戦前期日本のムスリム人口は、1920年代にロシアから難民となって流入したタタール人ムスリムが次第に増加して、1930年代頃には、外国人、日本人を合わせて、千人前後であったと考えられる。因みに日本人ムスリムの中には国策としての「回教政策」に関わって、入信した者もいたが、ここでは詳述しない。戦後になると、タタール人ムスリムの多くがトルコ国籍を得て出国したため、1950年代前半頃には、日本人、外国人合わせて、数百人程度のムスリムが日本に居住していたと思われる。その後の2000年代半ばまでの人口推移を示したものが、表1である。このように、日本のムスリム人口は、1969年の3500人から、2006年には7万人前後まで増加していたものと推計されていた。³

表1. 日本のムスリム人口推計の概観（1969年～2006年）

	1969 年	1984 年	1995 年	2000 年	2006 年
日本のムスリム人口 （日本人と外国人）	3,500	8,000	不詳	不詳	不詳
日本の外国人ムスリム人口	1,500	5,100	30,000～ 40,000	50,000～ 60,000	60,000～ 70,000

資料：拙著『日本のモスク：滞日ムスリムの社会的活動』山川出版社、2015年、11～14頁。

2. 日本のムスリム人口 ⁴

さて、本節では、主題にそって新たに推計した、1990 年、2005 年、2020 年における日本のムスリム人口を提示する。本稿では、これまで筆者が実施してきた推計方法に即して、法務省が公開している「在留外国人統計」第 1 表の在留外国人数を利用し、それぞれの国籍の人数に各国別のムスリム人口比率を掛け合わせた人口をまず算出した。更に在留資格の「日本人の配偶者等（日本人の配偶者と子）」が示されている場合には、同様のムスリム人口比率を利用して、「日本人の配偶者等（日本人の配偶者または子）」としてのムスリム人口を算出し、その人口に対応する日本人配偶者（ムスリムである）人口を算出している。それらの推計結果は、表 2. から表 4. に記載した。この他に、ほぼ同じ時点での「不法残留者」として国籍が公表されているインドネシア、マレーシア、シンガポール、フィリピン、タイ、スリランカ、ベトナム、中国、台湾などの外国人については、同様にムスリム人口比率を利用して、ムスリムの「不法残留者」を推計し、それらのムスリム人口数を掲載した。以下では、各表に示されたムスリム人口について、改めて詳述しておこう。

表 2. に示したように、1990 年 12 月末現在、正規の滞在資格を有する外国人ムスリム、18,815 人、内訳として「日本人の配偶者等」資格の外国人ムスリムが 3,540 人である。後者のうち、成人の外国人ムスリムが 2,747 人いるものと推計し、この人々には日本人配偶者がいると想定して、ムスリムである日本人配偶者の数を、2,747 人とした。なお、この成人比率は、アジア地域からの外国人全体の 20 歳以上の割合である、77.6%を利用した。この他に、「不法残留者」のうち、インドネシア、マレーシア、タイ、スリランカ、ミャンマー、中国、台湾国籍の者について、ムスリム人口を推計し、その数を、6,173 人とした。その他、日本人ムスリムが、2000 人いるものと推計した。以上の、外国人、日本人を合計して、日本に住んでいるムスリムは、全体で 29,734 人である。

次に、表 3. にあるように、2005 年 12 月末現在で、正規の滞在資格を有する外国人ムスリム、83,670 人、内訳として「日本人の配偶者等」資格の外国人ムスリムが 11,864 人である。後者のうち、成人の外国人ムスリムが 10,464 人いるものと推計し、この人々には日本人配偶者がいると想定して、ムスリムである日本人配偶者の数を、10,464 人とした。なお、この成人比率は、アジア地域からの外国人全体の 20 歳以上の割合である、88.2%を利用した。この他に、「不法残留者」のうち、インドネシア、マレーシア、タイ、スリランカ、フィリピン、ベトナム、ミャンマー、中国、台湾国籍の者について、ムスリム人口を推計し、その数を、12,786 人とした。その他、日本人ムスリムが、2000 人いるものと推計した。以上の、外国人、日本人を合計して、日本に住んでいるムスリムは、全体で 108,920 人である。

従って、上記した 2005 年末時点の滞日ムスリム人口は、約 11 万、内訳は外国人 10 万、日本人 1 万ということになる。しかし、この 3 年後におこったリーマンショックは、在留外国人数を 2009 年から 4 年連続で減少させることになった。そのため、滞日ムスリム人口の増加の勢いも減速したと思われる。そして、2010 年末時点の推計については、拙著で述べたとおり、約 11 万、内訳は外国人 10 万、日本人 1 万であり、⁵ 実のところ、2005 年末にすでに達成されていた数字でもあったのである。そうした推移を考えると、2005 年から 2010 年までは、滞日ムスリム人口については、ほぼ横這いあるいは若干減少し再び持ち直すなどの動きがあったと考えることが出来よう。⁶

最後に、表 4. に示した 2020 年 12 月末のムスリム人口について述べる。まず正規の滞在資格を有する外国人ムスリム、178,481 人、内訳として「日本人の配偶者」資格の外国人ムスリムが 8,543 人である。因みに、2019 年末からの在留外国人統計では、従来の「日本人の配偶者等」という項目が細分化され、「日本人の配偶者」と「日本人の子」となったので、「日本人の配偶者」の正確な数が把握できるようになった。この他に、「不法残留者」のうち、インドネシア、マレーシア、タイ、スリランカ、ベトナム、中国、台湾国籍の者について、ムスリム人口を推計し、その数を、5,640 人とした。この表 4. では、正規の滞在資格を有する外国人ムスリム、178,481 人、「不法残留者」のムスリム人口である、5,640 人、双方を合計して、2020 年 12 月末の外国人ムスリム人口として、184,121 人と推計した。因みに、2019 年末の外国人ムスリム人口は、183,166 人であり、1 年後には、955 人が増加したことになる。

一方、国内の日本人ムスリムに関する、2016 年末以降の人口推計においては、拙稿「日本人ムスリムとは誰のことか」において採用した方法を使って、推計を実施する事としたので、以下では、その推計方法の概要を改めて紹介しておく。それによれば、2016 年末時点の日本人ムスリムの人口推計結果は、以下のようである。詳細は省略するが、年齢別の在留外国人の割合も推計しつつ、「在留外国人統計」にある「日本人の配偶者等」および「永住者」の在留資格を有する在留外国人数を利用した推計によれば、婚姻を契機としてムスリムになった日本人、1 万 2 千、子どもや若者（25 歳未満と想定して推計）の日本人ムスリム、2 万 3 千、である。この他、「官報」から得られる帰化者データを利用した推計から、帰化した「日本人ムスリム」が 3 千、この他、日本ムスリム協会等の資料から推計した、自ら入信した日本人ムスリムが 2 千である。以上を合計した 4 万というのが、2016 年末時点の日本人ムスリムの推計人口であった。⁷

以上の 2016 年時点の推計人口をもとに、2020 年 12 月末現在の日本人ムスリム人口を簡便な方法によって推計する。2020 年 12 月末現在における、「日本人の配偶者等」資格のムスリム、8,543 人、「永住者」資格のムスリム、39,352 人に対して、2016 年末時点においては、前者が 7,543 人、後者が 33,727 人である。両者をあわせた変化を見ると、2020 年 12 月末現在、47,895 人、2016 年末時点、41,270 人であり、約 1.6 割の増加である。⁸

そこで、2020 年 12 月末現在の日本人ムスリムの推計人口として、それぞれのカテゴリーで約 1.6 割の増加と想定して、婚姻を契機としてムスリムになった日本人が、1 万 4 千、子どもや若者の日本人ムスリムが、2 万 7 千、と推計することとした。帰化した「日本人ムスリム」については、1 年間のムスリムの帰化者数が 2014 年以降はほぼ年間 180 人前後であることから、⁹ 3 年間でおよそ 7 百人の増加が想定されるため、3 千 7 百人とする。新たな入信者については、数百人規模の増加は想定されることから、2 千 4 百人とする。以上を合計して、2020 年 12 月末現在の日本人ムスリムの推計人口として、4 万 7 千とすることとした。

上記の推計結果から、2020 年 12 月末現在の日本におけるムスリム人口全体の規模として、外国人ムスリムが 18 万 4 千、日本人ムスリムが 4 万 7 千となり、日本に住んでいるムスリムの推計人口総数は、約 23 万である。従って、概算では、2019 年末と 2020 年末現在の、滞日ムスリム人口推計は、いずれも約 23 万である。コロナ禍によって、在留外国人数は、4 万人ほど減少していたが、外国人ムスリムについては、減少ではなく逆に少しではあるものの増加している現状があった（前述したように、955 人の増加）。詳しくは、2019 年末現在の推計人口と比較をしていただきたい。¹⁰

表 2. 1990 年末における日本のムスリム人口

国名	地域	在留外国 人数	外国人ム スリム人 口	日本人の 配偶者等 の在留外 国人	日本人の 配偶者等 の在留外 国人ムス リム	（左の 内、成人 ムスリ ム数 77.6%）	在留外国 人ムスリ ムの日本 人配偶者 （ムスリ ム）	ムスリム 比率	不法残 留者	不法残 留のム スリム
ソマリア		2	2	0	0			0.99	1991 年	初現在
コモロ		1	1	0	0			0.98		
ジブチ		2	2	0	0			0.94		

タンザニア		84	29	13	5	4	4	0.35		
エチオピア		45	15	15	5	4	4	0.34		
モザンビーク		3	0	2	0	0	0	0.09		
マラウイ	東アフリカ	11	2	7	1	1	1	0.20		
モーリシャス		15	2	6	1	1	1	0.17		
ウガンダ		18	2	5	1	0	0	0.12		
マダガスカル		23	0	4	0	0	0	0.02		
ケニア		118	9	38	3	2	2	0.08		
ブルンジ		3	0	1	0	0	0	0.10		
セイシェル		7	0	1	0	0	0	0.01		
ルワンダ		1	0	2	0	0	0	0.13		
ザンビア		52	2	6	0	0	0	0.04		
ジンバブエ		17	0	5	0	0	0	0.01		
チャド		1	1	1	1	0	0	0.57		
カメルーン		6	1	1	0	0	0	0.20		
中央アフリカ		2	0	1	0	0	0	0.10		
コンゴ	中部アフリカ	5	0	1	0	0	0	0.02		
ザイール		98	10	11	1	1	1	0.10		
ガボン		8	1	2	0	0	0	0.10		
アルジェリア		56	56	28	28	22	22	1.00		
モロッコ		71	70	53	52	41	41	0.99		
チュニジア	北アフリカ	57	56	5	5	4	4	0.99		

リビア		23	22	9	9	7	7	0.96		
エジプト		368	311	58	49	38	38	0.84		
スーダン		35	24	10	7	5	5	0.68		
南アフリカ		108	3	58	1	1	1	0.03		
アンゴラ	南部アフリカ	1	0	2	0	0	0	0.01		
ボツワナ		4	0	0	0	0	0	0.00		
スワジランド		1	0	0	0	0	0	0.01		
ガンビア		2	2	1	1	1	1	0.90		
セネガル		19	18	4	4	3	3	0.94		
マリ		10	9	3	3	2	2	0.90		
ニジェール		1	1	7	6	5	5	0.90		
ギニア		13	11	2	2	1	1	0.85		
シエラレオネ	西アフリカ	2	1	7	5	4	4	0.65		
ブルキナファソ		2	1	14	8	7	7	0.61		
ナイジェリア		193	97	13	7	5	5	0.51		
コートジボアール		17	5	1	0	0	0	0.28		
リベリア		13	2	8	1	1	1	0.12		
トーゴ		4	1	8	1	1	1	0.14		
ガーナ		598	120	57	11	9	9	0.20		
ベニン		3	1	1	0	0	0	0.24		
モンゴル		27	1	0	0	0	0	0.05		
中国	東アジア	150339	2255	23051	346	268	268	0.02	10039	151

台湾		*		*	*	*	*	0.01	4775	29
モルジブ		4	4	2	2	2	2	1.00		
アフガニスタン		142	141	10	10	8	8	0.99		
イラン		1237	1215	190	187	145	145	0.98		
パキスタン		2067	1986	374	359	279	279	0.96		
バングラデシュ	南部中央アジア	2109	1862	177	156	121	121	0.88		
インド		3107	381	222	27	21	21	0.12		
スリランカ		1206	84	225	16	12	12	0.07	1668	117
ネパール		447	19	96	4	3	3	0.04		
インドネシア		3623	2790	440	339	263	263	0.77	315	243
ブルネイ		9	7	3	2	2	2	0.80		
マレーシア		4683	2829	446	269	209	209	0.60	7550	4560
シンガポール		1194	178	323	48	37	37	0.15		
フィリピン	東南アジア	49092	2504	20516	1046	812	812	0.05		
タイ		6724	605	2301	207	161	161	0.09	11523	1037
ミャンマー		1221	37	88	3	2	2	0.03	1234	37
カンボジア		1171	27	7	0	0	0	0.02		
ベトナム		6233	6	72	0	0	0	0.00		
バーレーン		2	2	0	0	0	0	0.82		
イエメン		8	8	1	1	1	1	1.00		
トルコ		251	245	34	33	26	26	0.98		

イラク	西アジア	55	53	11	11	8	8	0.96		
サウジアラビア		89	84	3	3	2	2	0.94		
ヨルダン		65	62	18	17	13	13	0.95		
アラブ首長国連邦		2	1	0	0	0	0	0.62		
シリア		70	60	7	6	5	5	0.86		
クウェート		12	9	7	5	4	4	0.74		
レバノン		42	24	6	3	3	3	0.56		
キプロス		10	0	2	0	0	0	0.01		
イスラエル		398	68	42	7	6	6	0.17		
ブルガリア		90	11	11	1	1	1	0.12		
ソ連	東ヨーロッパ	440	70	85	14	11	11	0.16		
ルーマニア		42	0	14	0	0	0	0.00		
アルバニア		9	6	0	0	0	0	0.68		
ユーゴスラビア	南ヨーロッパ	117	21	25	4	3	3	0.18		
マルタ		6	0	0	0	0	0	0.01		
リヒテンシュタイン	西ヨーロッパ	4	0	0	0	0	0	0.04		
ガイアナ		7	1	4	0	0	0	0.07		
ブラジル	南アメリカ	56429	226	40384	162	125	125	0.00		
アルゼンチン		2656	40	1886	28	22	22	0.02		
トリニダード・トバゴ		14	1	8	1	1	1	0.07		

パナマ	中米・カリブ海	37	0	4	0	0	0	0.00		
フィジー	オセアニア	41	3	3	2	2	2	0.06		
ムスリム推計人口の合計			外国人ムスリム人口	日本人の配偶者等の在留外国人数	日本人の配偶者等の在留外国人ムスリム	(左の内、成人ムスリム数)	在留外国人ムスリムの日本人配偶者(ムスリム)	その他の日本人ムスリム		不法残留者のムスリム
			18815	***	3540	2747	2747	2000		6173
									滞日ムスリム推計人口の合計	
									29734	

資料：『在留外国人統計』 平成3年度版

法務省入国管理局資料（平成14年3月）、不法残留者数の推移

*台湾は、データ記載無し。

**太字の国名は、イスラム協力機構の加盟国またはオブザーバー。以下の表も同様である。

表 3. 2005 年における日本のムスリム人口

国名	地域	在 留 外 国人数	外国人ム スリム人 口	日 本 人 の 配 偶 者 等 の 在 留 外 国人	日本人の 配偶者等 の在留外 国人ムス リム	(左の 内、成 人ムス リム数 88.2%)	在 留 外 国 人 ム ス リ ム の 日 本 人 配 偶 者 (ムス リム)	ム ス リ ム比率	不法残留 外国人数	不 法 残 留 の 外 国 人 ム ス リ ム 数
ソマリア		4	4	2	2	2	0	0.99	平成 18 年 1 月 1 日 現在	
コモロ		1	1	0	0	0	0	0.98		
ジブチ		5	5	1	1	1	0	0.94		
エリトリア		11	6	2	1	1	1	0.50		
タンザニア		352	123	39	14	12	30	0.35		
エチオピア		264	89	43	15	13	13	0.34		
モザンビーク		8	1	0	0	0	0	0.09		
マラウイ	東アフリカ	25	5	5	1	1	1	0.20		
モーリシャス		80	13	8	1	1	2	0.17		
ウガンダ		434	53	97	12	10	13	0.12		
マダガスカル		41	1	8	0	0	0	0.02		
ケニア		467	37	86	7	6	6	0.08		
ブルンジ		14	1	0	0	0	0	0.10		

セイシェル		10	0	1	0	0	0	0.01		
ルワンダ		20	3	2	0	0	0	0.13		
ザンビア		74	3	8	0	0	0	0.04		
ジンバブエ		70	1	10	0	0	0	0.01		
チャド		5	3	0	0	0	0	0.57		
カメルーン		214	43	22	4	4	15	0.20		
中央アフリカ		11	1	3	0	0	0	0.10		
コンゴ共和国	中部アフリカ	39	1	8	0	0	0	0.02		
コンゴ民主共和国		226	23	29	3	3	2	0.10		
赤道ギニア		2	0	2	0	0	0	0.04		
ガボン		23	2	3	0	0	0	0.10		
アルジェリア		149	149	28	28	25	20	1.00		
モロッコ		345	342	107	106	93	99	0.99		
チュニジア	北アフリカ	294	291	51	50	45	42	0.99		
リビア		36	35	1	1	1	4	0.96		
エジプト		1366	1153	67	57	50	65	0.84		
スーダン		170	116	13	9	8	6	0.68		
南アフリカ		564	14	63	2	1	1	0.03		
アンゴラ	南部アフリカ	6	0	0	0	0	0	0.01		
ボツワナ		3	0	2	0	0	0	0.00		
モーリタニア		10	10	2	2	2	0	0.99		
ガンビア		27	24	6	5	5	3	0.90		

セネガル		233	219	67	63	56	78	0.94		
マリ		128	115	24	22	19	27	0.90		
ニジェール		8	7	3	3	2	6	0.90		
ギニア		249	212	74	63	55	64	0.85		
シエラレオネ	西アフリカ	38	25	9	6	5	4	0.65		
ブルキナファソ		12	7	5	3	3	8	0.61		
ナイジェリア		2389	1206	779	393	347	302	0.51		
コートジボアール		98	27	12	3	3	4	0.28		
ギニア・ビサオ		4	2	0	0	0	0	0.42		
リベリア		12	1	1	0	0	1	0.12		
トーゴ		20	3	4	1	0	1	0.14		
ガーナ		1824	367	304	61	54	49	0.20		
ベニン		24	6	6	1	1	1	0.24		
モンゴル		3762	188	312	16	14	25	0.05		
中国	東アジア	519561	7793	54569	819	722	716	0.02	31074	466
台湾		*	*	*		0	*	0.01	6696	40
モルジブ		29	29	16	16	14	14	1.00		
アフガニスタン		593	587	22	22	19	31	0.99		
イラン		5227	5133	953	936	825	440	0.98		
パキスタン		8789	8446	1265	1216	1072	699	0.96		
バングラデシュ		11015	9726	590	521	459	345	0.88		
ウズベキスタン	南部中央アジア	495	377	40	30	27	43	0.76		

	ア									
トルクメニスタン		9	8	1	1	1	1	0.87		
タジキスタン		19	16	0	0	0	2	0.84		
キルギスタン		104	63	14	9	8	14	0.61		
カザフスタン		133	57	24	10	9	9	0.43		
インド		16988	2083	456	56	49	44	0.12		
スリランカ		9013	631	623	44	38	46	0.07	4590	321
ネパール		6953	292	536	23	20	19	0.04		
インドネシア		25097	19325	2785	2144	1891	1819	0.77	6926	5333
ブルネイ		36	29	1	1	1	2	0.80		
マレーシア		7910	4778	788	476	420	314	0.60	6822	4120
シンガポール		2283	340	339	51	45	40	0.15		
フィリピン	東南アジア	187261	9550	45148	2303	2031	1870	0.05	30777	1570
タイ		37703	3393	11097	999	881	692	0.09	10352	932
ミャンマー		5342	160	514	15	14	13	0.03		
カンボジア		2263	52	134	3	3	3	0.02		
ベトナム		28932	29	1167	1	1	2	0.00	4071	4
東チモール		9	0	1	0	0	0	0.01		上 記 合 計
バーレーン		11	9	0	0	0	0	0.82		12786
イエメン		45	45	1	1	1	3	1.00		
トルコ		2275	2218	472	460	406	407	0.98		

イラク		75	72	5	5	4	6	0.96		
サウジアラビア		349	328	5	5	4	6	0.94		
ヨルダン		173	164	19	18	16	17	0.95		
アラブ首長国連邦		25	16	1	1	1	1	0.62		
カタール	西アジア	15	12	0	0	0	1	0.83		
アゼルバイジャン		45	39	2	2	2	3	0.87		
オマーン		31	28	1	1	1	2	0.89		
シリア		158	136	26	22	20	17	0.86		
クウェート		30	22	1	1	1	2	0.74		
レバノン		64	36	5	3	2	8	0.56		
キプロス		32	0	4	0	0	0	0.01		
イスラエル		802	136	222	38	33	22	0.17		
グルジア		41	8	3	1	1	0	0.20		
マケドニア		31	10	3	1	1	1	0.32		
ブルガリア		428	51	34	4	4	5	0.12		
ロシア		7110	1138	1862	298	263	223	0.16		
ウクライナ	東ヨーロッパ	1784	18	531	5	5	4	0.01		
モルドバ		142	8	58	3	3	3	0.06		
ルーマニア		3574	11	1089	3	3	2	0.00		
アルバニア		49	33	13	9	8	10	0.68		
ボスニア・ヘルツェゴ ビナ		22	9	0	0	0	1	0.40		

セルビア・(モンテネグロ)	南ヨーロッパ	109	3	17	1	0	0	0.03		
クロアチア		80	1	19	0	0	0	0.01		
スロベニア		48	1	7	0	0	0	0.02		
マルタ		31	0	2	0	0	0	0.01		
リヒテンシュタイン	西ヨーロッパ	4	0	1	0	0	0	0.04		
スリナム		14	2	4	1	0	0	0.14		
ガイアナ	南アメリカ	9	1	0	0	0	0	0.07		
ブラジル		302080	1208	78851	315	278	107	0.00		
アルゼンチン		3834	58	1085	16	14	7	0.02		
トリニダード・トバゴ		61	4	11	1	1	1	0.07		
パナマ	中米・カリブ海	69	0	9	0	0	0	0.00		
フィジー	オセアニア	159	10		0	0	2	0.06		
ムスリム推計人口の合計			外国人ムスリム人口		日本人の配偶者等の在留外国人ムスリム	(左の内、成人ムスリム数)	在留外国人ムスリムの日本人配偶者(ムスリム)	その他の日本人ムスリム	不法残留の外国人ムスリム	
			83670		11864	10464	10464	2000	12786	

								滞日ムスリム推計 人口の合計	
								108920	

資料：『在留外国人統計』 平成 18 年度版

国籍・地域別の不法残留者数の推移（平成 16～21 年）（『警察白書』平成 21 年版、掲載）

（注）在留外国人統計には、台湾としての記載無し。一方、不法残留者数には中国（台湾）として記載あり。

表 4. 2020 年における日本のムスリム人口(外国人人口)

国名	地域	在留外国人 数	国別ムス リム比率	外 国 人 ム ス リ ム 人 口	日本人の配 偶者の在留 外国人	日本人の 配偶者の 在留外国 人ムスリ ム	不法残留 外国人数	不法残留の 外国人ムス リム数
ソマリア		28	99.0	28	1	1	2021-1-1 現在	
コモロ		3	98.4	3	0	0		
ジブチ		13	94.1	12	1	1		
エリトリア		47	50.0	24	2	1		

タンザニア		447	35.0	156	70	25		
エチオピア		445	34.1	152	38	13		
モザンビーク		121	17.9	22	8	1		
マラウイ	東アフリカ	129	20.0	26	12	2		
モーリシャス		76	17.3	13	9	2		
ウガンダ		871	12.1	105	100	12		
マダガスカル		128	2.0	3	16	0		
ケニア		803	11.2	90	57	6		
ブルンジ		34	3.5	1	2	0		
セイシェル		7	1.6	0	1	0		
ルワンダ		85	2.0	2	8	0		
ザンビア		132	0.4	1	7	0		
ジンバブエ		236	0.9	2	15	0		
チャド		4	57.0	2	1	1		
カメルーン		1059	20.9	221	111	23		
中央アフリカ		15	10.0	2	1	0		
コンゴ共和国	中部アフリカ	27	1.6	0	3	0		
コンゴ民主共和国		501	10.0	50	31	3		
ガボン		24	6.4	2	3	0		
アルジェリア		214	99.7	213	27	27		
モロッコ		656	99.0	649	187	185		
チュニジア	北アフリカ	722	99.0	715	151	149		

リビア		50	96.6	48	3	3		
エジプト		2027	90.0	1824	129	116		
スーダン		273	68.4	187	22	15		
南アフリカ		1020	2.5	26	60	2		
アンゴラ	南部アフリカ	44	0.7	0	2	0		
ボツワナ		65	0.3	0	1	0		
エスワティニ		4	1.0	0	1	0		
モーリタニア		22	99.1	22	4	4		
ガンビア		98	90.0	88	13	12		
セネガル		982	95.4	937	152	145		
マリ		198	94.8	188	30	28		
ニジェール		22	90.0	20	3	3		
ギニア		466	86.7	404	59	51		
シエラレオネ	西アフリカ	67	65.0	44	5	3		
ブルキナファソ		135	61.6	83	9	6		
ナイジェリア		3315	50.5	1674	502	254		
コートジボアール		160	40.2	64	12	5		
カーボベルデ		14	1.8	0	0	0		
ギニア・ビサオ		10	45.1	5	2	1		
リベリア		49	12.2	6	2	0		
トーゴ		43	13.7	6	9	1		
ガーナ		2506	17.6	441	291	51		

ベナン		110	24. 4	27	19	5		
モンゴル		13504	3. 0	405	425	13		
中国	東アジア	778112	1. 8	14006	27063	487	10335	186
台湾		55872	0. 6	335	4407	26	3724	22
モルジブ		51	100. 0	51	12	12		
アフガニスタン		3509	99. 0	3474	25	25		
イラン		4121	99. 3	4092	287	285		
パキスタン		19103	96. 4	18415	824	794		
バングラデシュ		17463	89. 1	15560	404	360		
ウズベキスタン	南部中央アジア	3632	76. 2	2768	74	56		
トルクメニスタン		42	87. 2	37	1	1		
タジキスタン		197	84. 0	165	5	4		
キルギスタン		503	60. 8	306	30	18		
カザフスタン		430	70. 2	302	42	29		
インド		38558	14. 2	5475	463	66		
スリランカ		29290	9. 7	2841	907	88	1287	125
ネパール		95982	4. 4	4223	1058	47		
インドネシア		66832	87. 2	58278	1953	1703	3869	3374
ブルネイ		36	78. 8	28	3	2		
マレーシア		10318	61. 3	6325	512	314	1826	1119
シンガポール		2958	14. 9	441	329	49		
フィリピン	東南アジア	279660	5. 1	14263	21802	1112		

タイ		53379	9.0	4804	6930	624	8691	782
ミャンマー		35049	4.3	1507	493	21		
カンボジア		16659	4.0	666	304	12		
ベトナム		448053	0.2	896	4958	10	15689	31
東チモール		39	3.8	1	1	0		5640
バーレーン		28	70.0	20	1	1		
イエメン		118	100.0	118	7	7		上記の合計
トルコ		6212	97.5	6057	920	897		
イラク		161	96.0	155	16	15		
サウジアラビア		457	94.0	430	20	19		
ヨルダン		211	97.2	205	31	30		
アラブ首長国連邦		85	62.0	53	0	0		
カタール	西アジア	39	83.0	32	1	1		
アゼルバイジャン		133	96.0	128	7	7		
オマーン		24	85.9	21	2	2		
シリア		970	85.0	825	29	25		
クウェート		28	76.7	21	3	2		
レバノン		160	54.0	86	20	11		
キプロス		46	1.8	1	1	0		
イスラエル		600	17.5	105	93	16		
ジョージア		70	19.5	14	9	2		
北マケドニア		54	32.0	17	12	4		

ブルガリア		429	10.0	43	49	5		
ロシア		9249	16.0	1480	980	157		
ウクライナ	東ヨーロッパ	1865	1.0	19	265	3		
モルドバ		166	5.5	9	27	1		
ルーマニア		2250	0.3	7	253	1		
アルバニア		93	58.8	55	14	8		
ボスニア・ヘルツェゴビナ		54	45.0	24	6	3		
セルビア		260	3.1	8	27	1		
モンテネグロ		10	19.1	2	1	0		
コソボ	南ヨーロッパ	13	95.6	12	2	2		
クロアチア		129	1.5	2	24	0		
スロベニア		93	2.4	2	15	0		
マルタ		24	0.7	0	3	0		
リヒテンシュタイン	西ヨーロッパ	8	4.1	0	3	0		
スリナム		6	13.9	1	1	0		
ガイアナ	南アメリカ	17	7.2	1	0	0		
ブラジル		208538	0.1	209	1861	2		
アルゼンチン		2966	1.5	44	154	2		
トリニダード・トバゴ		157	4.9	8	8	0		
パナマ	中米・カリブ海	74	0.7	1	13	0		
フィジー	オセアニア	276	6.3	17	37	2		

ムスリム推計人口の合計			外国人ムスリム人口		日本人の配偶者の在留外国人ムスリム	不法残留の外国人ムスリム	外国人ムスリム推計人口の合計
			178481		8543	5640	184121

資料：『在留外国人統計』 2020 年 12 月末

出入国在留管理庁「本邦における不法残留者数について 令和 3 年 1 月 1 日現在」

3. 都道府県別のムスリム人口推計

次に、都道府県別のムスリム人口推計を実施する。「在留外国人統計」には、都道府県別・国籍別の在留外国人数が報告されており、それを利用して推計した。外国人ムスリムが多い、「主要なイスラム社会」（人口 100 万以上で、全人口に占めるムスリム比率が 50%以上の国）のうち、在留外国人数が多い上位 8 ヶ国または 10 ヶ国について、都道府県別のムスリム人口を推計した。各国別の在留ムスリム人口は、在留外国人数に同国のムスリム比率を乗じて、算出した。

ここでは、2020 年を取りあげて、手順について解説する。まず上位 10 カ国は、アフガニスタン、バングラデシュ、インドネシア、イラン、マレーシア、パキスタン、トルコ、ウズベキスタン、ナイジェリア、エジプトである。これら上位 10 ヶ国の滞日ムスリム人口の合計は、約 11 万 8 千であった（表 6. には未掲載）。この数字をもとに、都道府県別の構成比率を算出した。その他の国・地域出身のムスリム人口、および、日本人ムスリム人口を合わせた、2020 年末現在の滞日ムスリム人口は、前節で述べたように、23 万と推計済みである。そこで、上位 10 ヶ国のムスリム人口の都道府県別の比率を基準として、各都道府県の滞日ムスリム人口を推計した。

その結果を表 6. に見ると、多い順に、東京都には 3 万 1 千、埼玉県に 2 万 2 千、愛知県に 2 万 2 千、神奈川県に 1 万 6 千、千葉県に 1 万 6 千、茨城県に 1 万 4 千、大阪府に 1 万 1 千と、以上の 7 都府県に、各々 1 万人以上のムスリムが居住しているものと思われる。ムスリム人

口がもっとも少ないのは秋田県の3百であり、この他、5百前後の県として、青森、岩手、山形、和歌山、鳥取、島根、高知の各県があるが、全国すべての都道府県にムスリムが居住している。因みに、東京都の場合でも都人口の0.2%程度を占めるに過ぎない。滞日ムスリム人口全体の大都市圏への集住は顕著であり、関東1都6県に50%、中京3県(愛知、岐阜、静岡)に15%、関西3府県(京都、大阪、兵庫)に8%と、これら3地域あわせて73%に達する。

1990年、2005年、2020年の推移は、表6. に提示したとおりであるが、大きな傾向として、3大都市圏の比率が、徐々に低下していることである。年代順に、82%、75%、73%であり、このことは大都市圏以外へのムスリム居住が進行してきたことを表していよう。とりわけ、東京都の比率は、年代順に、39%、18%、13%と、小さくなったのも、大きな変化であろう。また、指摘しておきたいことは、1990年末時点でも、すべての都道府県にムスリムの居住が見られたと考えられることである。それぞれ50人未満と少数であるが、青森、岩手、和歌山、島根の各県も、ムスリム人口を擁していたのである。

表6. 都道府県別・滞日ムスリム人口の推計 1990・2005・2020年末現在

		1990 年			2005 年			2020 年	
都道府県名 (注)	構 成 比率	都 道 府 県 内 ム ス リ ム人口	3 大都 市圏	構 成 比率	都 道 府 県 内 ム ス リ ム 人口	3 大 都 市 圏	構 成 比率	都 道 府 県 内 ム ス リ ム 人口	3 大 都 市 圏
北 海 道	1.4	419		1.0	1044		1.4	3262	
青 森	0.0	13		0.3	323		0.2	560	
岩 手	0.1	31		0.4	424		0.3	679	
宮 城	0.9	275		1.2	1271		1.4	3179	
秋 田	0.2	55		0.2	170		0.1	331	

山	形	0.3	78		0.2	192		0.3	625		
福	島	0.5	137		0.5	544		0.6	1449		
茨	城	2.2	669		4.6	5003		6.0	13743		
栃	木	1.3	377		2.2	2436		2.7	6227		
群	馬	1.1	318		4.5	4867		3.8	8809		
埼	玉	9.4	2788		9.4	10222		9.9	22703		
千	葉	6.3	1877		6.9	7490		6.8	15575		
東	京	38.6	11492		18.1	19764		13.4	30819		
神	奈	川	8.3	2473	67.2	8.4	9177	54.1	7.1	16283	49.6
新	潟	1.0	290		1.3	1382		0.9	2004		
富	山	0.5	148		0.9	977		1.1	2645		
石	川	1.2	359		0.7	754		0.7	1661		
福	井	0.3	87		0.3	307		0.3	747		
山	梨	0.3	91		0.8	839		0.4	851		
長	野	0.8	245		2.5	2680		1.4	3127		
岐	阜	0.6	179		1.1	1164		1.6	3740		
静	岡	1.6	481		4.5	4938		3.4	7721		
愛	知	4.5	1326	6.7	8.7	9443	14.3	9.5	21920	14.5	
三	重	1.5	437		1.8	2014		1.8	4160		
滋	賀	0.3	89		0.6	688		1.0	2332		
京	都	2.2	666		1.2	1330		1.5	3359		
大	阪	3.3	993		3.5	3863		4.6	10660		

兵 庫	2.5	735	8.1	2.1	2254	6.8	2.3	5244	8.4
奈 良	0.2	71		0.4	411		0.4	986	
和 歌 山	0.1	19		0.2	238		0.2	485	
鳥 取	0.2	54		0.2	215		0.2	451	
島 根	0.1	40		0.3	356		0.2	513	
岡 山	1.0	301		1.1	1223		1.4	3152	
広 島	1.5	444		1.8	1964		2.1	4858	
山 口	0.3	93		0.5	534		0.6	1337	
徳 島	0.3	78		0.4	458		0.4	918	
香 川	0.3	84		0.6	691		0.9	2034	
愛 媛	0.3	95		0.4	403		0.5	1247	
高 知	0.2	60		0.6	655		0.3	632	
福 岡	1.6	478		1.7	1864		2.2	5022	
佐 賀	0.3	76		0.4	383		0.5	1221	
長 崎	0.6	176		0.4	433		0.3	786	
熊 本	0.3	85		0.7	724		0.7	1704	
大 分	0.2	68		0.7	816		0.9	2154	
宮 崎	0.2	54		0.7	744		0.6	1471	
鹿 児 島	0.5	157		0.6	615		0.6	1280	
沖縄	0.6	174		0.6	625		1.0	2275	
未定・不詳	0	0		0	0		1.3	3059	
合計		29734			108916			230000	

(注) 三大都市圏の欄の数字は、上から順に以下の都市圏内のムスリム人口の構成比率である。

関東1都6県（東京都、神奈川・千葉・埼玉・栃木・群馬・茨城の各県）

中京3県（愛知・岐阜・静岡の各県）

関西3府県（京都・大阪・兵庫の各府県）

4. 年齢階級別の在留外国人数 （主要なイスラム社会の上位8ヶ国または10ヶ国）

次いで、主要なイスラム社会の上位8ヶ国または10カ国について、年齢階級別の在留外国人数を提示する。本稿では、在留外国人統計のデータを元に、20歳未満、20歳～40歳未満、40歳～60歳未満、60歳以上の4つの年齢階級別に集計した。構成比については、男女人口それぞれの合計を100%として、構成比を算出して表示している。この表は、ムスリム人口推計ではなく、対象国それぞれの在留外国人数であることに留意いただきたい。従って、各国別の4つの年齢階級別の構成比を見るための原表という性格のものである。具体的な分析は、このデータを利用して実施していただきたい。

各国別の年齢構成を概観してみると、インドネシアやマレーシアで若年層が多いことや、イランなどでは中高年層に偏りがあること、また、前者では女性人口、後者では男性人口が相対的に大きいことなど、国籍によって、年齢構成は大きく異なる。具体的には、主要6カ国について、2012年末現在の人口ピラミッドを以前に作成しているので、そちらを参照していただければ幸いである。¹¹ なお、1990年から2020年の変化の一つは、年齢構成の高齢化であるが、詳しくは、今後の分析に委ねたい。

表7. 国籍別 年齢階級別の在留外国人数（男女別） 1990年・2005年・2020年

1990年	総数	総数		20歳未満		40歳未満		60歳未満		60歳以上	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女

アフガニスタン	142	89	53	22	25	38	23	25	4	4	1
バングラデシュ	2109	1927	182	91	44	1801	133	34	5	1	0
インドネシア	3623	2233	1390	236	231	1814	979	157	163	26	17
イラン	1237	906	331	143	109	641	183	117	37	5	2
マレーシア	4683	2944	1739	236	206	2608	1458	95	72	5	3
パキスタン	2067	1834	233	115	96	1551	111	158	21	10	5
トルコ	251	166	85	8	12	117	45	30	11	11	17
エジプト	368	233	135	43	46	158	82	28	5	4	2
合計	14480	10332	4148	894	769	8728	3014	644	318	66	47
	男女別比率	100	100	8.7	18.5	84.5	72.7	6.2	7.7	0.6	1.1
2005 年	総数	総数		20 歳未満		40 歳未満		60 歳未満		60 歳以上	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
アフガニ	593	467	126	59	58	331	50	72	17	5	1

スタン											
バングラ デシュ	11015	8739	2276	819	694	5723	1462	2175	107	22	13
インドネ シア	25097	16410	8687	1038	913	14421	6802	888	898	63	74
イラン	5227	4513	714	220	221	2506	330	1757	153	30	10
マレーシ ア	7910	4329	3581	358	375	3314	2221	640	964	17	21
パキスタ ン	8789	7693	1096	539	485	4047	490	3044	102	63	19
トルコ	2275	1924	351	131	74	1469	230	306	38	18	9
モロッコ	345	259	86	13	6	200	59	45	21	1	0
ナイジェ リア	2389	2209	180	67	71	1312	82	826	27	4	0
エジプト	1366	816	550	228	246	436	267	143	33	9	4
合計	65006	47359	17647	3472	3143	33759	11993	9896	2360	232	151
	男女別比 率	100	100	7.3	17.8	71.3	68.0	20.9	13.4	0.5	0.9
2020 年	総 数	総数		20 歳未満		40 歳未満		60 歳未満		60 歳以上	

		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
総数	2887116	1429471	1457645	64051	61747	134535	146277	53988	76475	13256	24720
アジア	2435281	1164088	1271193	52849	51511	102930	126590	35761	64778	12093	23405
アフガニスタン	3509	2363	1146	744	587	1026	406	548	137	45	16
バングラデシュ	17463	12067	5396	1798	1737	7054	2995	3016	647	199	17
インドネシア	66832	44507	22325	2786	2617	38259	15998	3322	3335	140	375
イラン	4121	3283	838	173	157	514	390	2336	244	260	47
マレーシア	10318	5343	4975	682	574	3446	2571	1118	1474	97	356
パキスタン	19103	14172	4931	2716	2213	5707	1807	5124	860	625	51
トルコ	6212	4942	1270	590	454	2811	596	1485	202	56	18
ウズベキスタン	3632	2824	808	363	253	2353	488	105	60	3	7
ナイジェリア	3315	2776	539	228	195	688	233	1736	105	124	6
エジプト	2027	1270	757	327	289	631	410	283	45	29	13
合計	136532	93547	42985	10407	9076	62489	25894	19073	7109	1578	906
	男女別比	100	100	11.1	21.1	66.8	60.2	20.4	16.5	1.7	2.1

	率										
--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

5. 在留資格別（永住者・日本人の配偶者等・定住者など）の在留外国人数 （主要なイスラーム社会の上位8ヶ国または10ヶ国）

最後に、在留資格別の在留外国人数について取りあげる。ここでは、主要なイスラーム社会の上位8ヶ国または10ヶ国について、中長期的な在留の可能性が高い在留資格の状況を、実数（資格を有する人数）で明記することとした。この表も年齢階級別の表と同じく、ムスリム人口の推計数ではなく、対象国それぞれの在留外国人数であることに留意いただきたい。従って、各国別の特定の在留資格別の構成比を見るための原表という性格のものである。

ここに取りあげた、主要国における特定の在留資格を有する外国人の割合の推移をみると、1990年の19.3%、2005年の30.8%、2020年の32.2%と、上昇しており、中長期的な滞在をする外国人が増加していることをうかがわせるものである。

最後の合計欄には、実数とそれぞれの資格の占める構成比率を表示したが、国籍によって、資格の構成比はかなり差異があるので、外国人ムスリムの在留資格について言及する際には、注意が必要である。

表8. 在留資格別（永住者・日本人の配偶者等・定住者など）在留外国人数 主要なイスラーム社会

1990年										
主要8カ国	総数	永住者	日本人の配偶者等	永住者の配偶者等	定住者	4 資格の合計	4 資格の比率			
アフガニスタン	142	13	10	5	44	72	50.7			
バングラデシュ	2109	14	177	3	144	338	16.0			
インドネシア	3623	135	440	17	117	709	19.6			
イラン	1237	56	190	6	59	311	25.1			

マレーシア	4683	113	446	5	65	629	13.4			
パキスタン	2067	70	374	3	94	541	26.2			
トルコ	251	54	34	5	18	111	44.2			
エジプト	368	15	58	0	10	83	22.6			
8 カ国合計	14480	470	1729	44	551	2794	19.3			
2005 年										
主要 10 カ国	総 数	永住者	日本人の 配偶者等	永住者の 配偶者等	定住者	4 資格の合 計	4 資格の比 率			
アフガニスタン	593	70	22	2	70	164	27.7			
バングラデシュ	11015	1208	590	85	277	2160	19.6			
インドネシア	25097	1676	2785	40	1459	5960	23.7			
イラン	5227	1687	953	75	302	3017	57.7			
マレーシア	7910	1286	788	25	142	2241	28.3			
パキスタン	8789	1928	1265	144	421	3758	42.8			
トルコ	2275	277	472	20	44	813	35.7			
モロッコ	345	100	107	4	4	215	62.3			
ナイジェリア	2389	657	779	17	32	1485	62.2			
エジプト	1366	116	67	1	17	201	14.7			
10 カ国合計	65006	9005	7828	413	2768	20014	30.8			

2020 年										
主要 10 カ国	総 数	永住者	日本人の配偶者等			永住者の 配偶者等	定住者	特 別 永 住者	5 資格合 計	5 資格の 比率
			計	日本人の 配偶者	日 本 人 の子					
アフガニスタン	3509	243	25	25	0	35	133	0	461	13. 1
バングラデシュ	17463	3602	405	404	1	490	527	0	5429	31. 1
インドネシア	66832	6852	2142	1953	189	374	2260	8	13778	20. 6
イラン	4121	2620	287	287	0	128	204	8	3534	85. 8
マレーシア	10318	2943	526	512	14	59	166	11	4231	41. 0
パキスタン	19103	5054	830	824	6	909	1325	2	8950	46. 9
トルコ	6212	1070	924	920	4	288	290	0	3496	56. 3
ウズベキスタン	3632	296	74	74	0	27	61	0	532	14. 6
ナイジェリア	3315	1592	502	502	0	160	154	14	2924	88. 2
エジプト	2027	322	130	129	1	17	49	2	650	32. 1
10 カ国合計	136532	24594	5845	5630	215	2487	5169	45	43985	32. 2

(注) 上記の各欄の数値は、在留外国人数であることに注意されたい。ムスリム人口の数字ではない。

6. まとめにかえて

2019 年現在、約 19 億の世界のムスリム人口は、将来はどのくらいの規模になるであろうか。2030 年と 2050 年のムスリム人口について、国連の「世界人口推計 2019 年」による世界人口（2030 年と 2050 年の中位推計人口）をベースとして推計してみた。ムスリム人口比率が 2019 年と同じく 24.3%と仮定すると、2030 年と 2050 年には、世界のムスリム人口は、それぞれ 20.8 億と 23.7 億になるものと推計される。¹²

一方、2015 年にピュー・リサーチ・センターが発表した宗教人口推計¹³によれば、2050 年の世界のムスリム人口推計は、27.6 億である。同センターの推計では、2050 年の世界人口が約 93 億人（「世界人口推計 2019 年」では約 97 億）となっており、従って、世界人口に占める割合は、29.7%となっている。

一方、日本のムスリム人口は、欧米の先進諸国に比べると、人口規模や全人口に占める割合も低いのが現状であるが、われわれの調査研究から見ても、国内に「ムスリム・コミュニティ」が根付きつつあるのは確かである。¹⁴ 政府や地方自治体が「多文化共生」施策を実施していく上でも、日本のムスリム人口の動向を視野に入れていくことが今後必要であろう。因みに前述の 2015 年のピュー・リサーチ・センターによる、日本のムスリム人口に関する将来推計は、2050 年については全人口の 0.3%となっており、約 31 万という滞日ムスリム人口推計が報告されている（この時点の日本人口は、1 億 778 万として推計されている）。¹⁵ 本稿における 23 万という人口推計と比べれば、2015 年時点の推計ではあるが、過小な将来推計ということが言えるかも知れない。

将来の日本のムスリム人口の規模については、2019 年 4 月からの「特定技能」資格の導入による外国人労働者受入政策の変更などを考慮すると、コロナ禍が収束あるいはコントロールが可能な社会状況になってくれば、これからも増加することが予想される。今後しばらくの間、在留外国人人口の動向は定かではないのが現状であるが、外国人ムスリム人口については、2019 年末と 2020 年末を比べてみても、減少するどころか、かえって若干の増加が見られたのは、注目すべき点である。いずれにしても、コロナ禍の影響が、2021 年以降の在留外国人数に、どのように反映されるかは不透明であるものの、滞日ムスリム人口については、将来的にもその存在感は注視していく必要があることは間違いない。

付記：本報告は、科学研究費基盤研究（C）課題番号 18K01976「滞日ムスリム・コミュニティの地域社会活動と地方自治体の多文化共生政策の課題」（研究代表者・店田廣文）による研究成果の一部である。

- ¹ 店田廣文・岡井宏文「日本のイスラーム：ムスリム・コミュニティの現状と課題」『宗務時報』119号、2015年。店田廣文『日本のモスク：滞日ムスリムの社会的活動』山川出版社、2015年。
- ² 店田廣文「世界と日本のムスリム人口 2019/2020年」『Research Papers: Muslims in Japan』No. 19、2021年。モスクの数については、本文巻末資料参照。
- ³ 店田廣文「世界と日本のムスリム人口 2011年」『人間科学研究』26巻1号（2013年）。
- ⁴ ブリタニカの2011年版には日本のムスリム人口比率の記載があり、同書記載の0.1%を採用すれば、2017年の滞日ムスリム人口は約13万となる。ピュー・リサーチ・センターの2011年発行の推計では、2010年の滞日ムスリム人口は、約18万5千（全人口の約0.1%）である。Pew Research Center, *The Future of the Global Muslim Population Projections for 2010-2030*, January 27, 2011。因みに、同レポートによる2030年の滞日ムスリム人口推計は、17万1千と若干減少している。また、同センターが2015年に発表した *The Future of World Religions: Population Growth Projections, 2010-2050*, April 2, 2015によれば、2010年は、20万、2050年は、31万である。なお、2017年には、*World Muslim Population by Country: Interactive Data Table1* (Nov. 17, 2017)が発表されており、同表には、日本のムスリム人口として、183,000（2009年）が掲載されている。
- ⁵ 店田廣文「世界と日本のムスリム人口 2011年」（前掲）。
- ⁶ 勿論、2006年から2009年まで各年の在留外国人統計を使って推計をすれば、滞日ムスリム人口推計の詳細な数字の変動を捉える事が出来るだろう。
- ⁷ 店田廣文「日本人ムスリムとは誰のことか ―日本におけるイスラーム教徒（ムスリム）人口の現在」『社会学年誌』59号、109-128頁。
- ⁸ 2019年末の在留外国人統計では、「日本人の配偶者等」の在留資格の内訳が明記されている。それによって、日本人の配偶者と、日本人の子の実数が把握できるようになった。
- ⁹ 店田廣文「日本人ムスリムとは誰のことか」（前掲）。
- ¹⁰ 店田廣文「世界と日本のムスリム人口 2019/2020年」（前掲）。
- ¹¹ 店田廣文『日本のモスク』（前掲）、16-19頁。
- ¹² 店田廣文「世界と日本のムスリム人口 2019/2020年」（前掲）。
- ¹³ Pew Research Center, *The Future of World Religions: Population Growth Projections, 2010-2050, Why Muslims Are Rising Fastest and the Unaffiliated Are Shrinking as a Share of the World's Population* (April 2, 2015)。
- ¹⁴ 店田廣文『日本のモスク』（前掲）。
- ¹⁵ 脚注4. に記載した2015年の報告書による日本のムスリム人口推計結果は、以下の通りである。<http://www.pewforum.org/2015/04/02/religious-projection-table/2050/number/all/>（2019年4月6日参照）。各年の滞日ムスリム人口推計は、20万（2010年）、20万（2020年）、24万（2030年）、27万（2040年）、31万（2050年）である。比率は、2010～2040年までは0.2%、2050年は0.3%である。

付表 全国モスクリスト （2021年9月現在）

No.	名称（通称を記載）	所在地	所在地域	設立年
1	神戸モスク	兵庫県神戸市中央区	関西	1935

2	東京回教礼拝堂（東京ジャーミイ）	東京都渋谷区	関東	1938(2000)
3	パライ・インドネシア礼拝所*(97 へ)	東京都目黒区	関東	1962
4	アラブ・イスラーム学院	東京都港区	関東	1982
5	一ノ割モスク	埼玉県春日部市	関東	1991
6	伊勢崎モスク	群馬県伊勢崎市	関東	1995
7	成増モスク（お花茶屋モスク）	東京都葛飾区	関東	1995(2001)
8	日向モスク	千葉県山武市	関東	1995
9	境町モスク	群馬県伊勢崎市	関東	1997
10	海老名モスク	神奈川県海老名市	関東	1998
11	行徳モスク	千葉県市川市	関東	1998
12	名古屋モスク	名古屋市中村区	中部・東海・北陸	1998
13	戸田モスク	埼玉県戸田市	関東	1999
14	大塚モスク	東京都豊島区	関東	1999
15	富山モスク	富山県射水市	中部・東海・北陸	1999
16	八潮モスク	埼玉県八潮市	関東	2000
17	浅草モスク	東京都台東区	関東	2000
18	足利モスク	栃木県足利市	関東	2000
19	つくばモスク	茨城県つくば市	関東	2001
20	新安城モスク	愛知県安城市	中部・東海・北陸	2001
21	高松モスク*〔閉鎖〕	香川県高松市	四国	2001
22	白井モスク	千葉県白井市	関東	2001
23	富士モスク	静岡県富士市	中部・東海・北陸	2001
24	大阪中央モスク	大阪市西淀川区	関西	2001
25	八王子モスク	東京都八王子市	関東	2002
26	各務原モスク	岐阜県各務原市	中部・東海・北陸	2002
27	新潟モスク	新潟県新潟市北区	中部・東海・北陸	2002
28	館林モスク	群馬県館林市	関東	2003
29	新居浜モスク	愛媛県新居浜市	四国	2003
30	蒲生モスク	埼玉県越谷市	関東	2003
31	小山モスク	栃木県小山市	関東	2005

32	いわきモスク	福島県いわき市	東北	2005
33	<u>京都モスク</u>	京都市上京区	関西	2005
34	<u>横浜モスク</u>	横浜市都筑区	関東	2006
35	所沢モスク	埼玉県所沢市	関東	2006
36	<u>豊田モスク</u>	愛知県豊田市	中部・東海・北陸	2006
37	名古屋港モスク	名古屋市港区	中部・東海・北陸	2006
38	<u>浜松モスク</u>	静岡県浜松市南区	中部・東海・北陸	2006
39	坂城モスク	長野県埴科郡坂城町	中部・東海・北陸	2006
40	館林サラマットモスク	群馬県館林市	関東	2006
41	マディーナ・モスク (小美玉)	茨城県小美玉市	関東	2006
42	<u>水戸アブーバカルモスク</u>	茨城県水戸市	関東	2006
43	<u>大阪茨木モスク</u>	大阪府茨木市	関西	2007
44	<u>仙台モスク</u>	仙台市青葉区	東北	2007
45	ベイトルムカッラムモスク	茨城県ひたちなか市	関東	2007
46	<u>札幌モスク</u>	北海道札幌市北区	北海道	2007
47	春日井モスク	愛知県春日井市	中部・東海・北陸	2007
48	結城モスク	茨城県結城市	関東	2008
49	徳島モスク	徳島県徳島市	四国	2008
50	<u>バープ・アル＝イスラーム岐阜モスク</u>	岐阜県岐阜市	中部・東海・北陸	2008
51	<u>小樽モスク</u>	北海道小樽市	北海道	2008
52	坂戸モスク	埼玉県坂戸市	関東	2008
53	<u>別府モスク</u>	大分県別府市	九州	2008
54	岡山モスク	岡山県岡山市北区	中国	2008
55	石岡・小美玉モスク	茨城県小美玉市	関東	2008
56	<u>鹿沼モスク</u>	栃木県鹿沼市	関東	2008
57	一宮モスク	愛知県一宮市	中部・東海・北陸	2008
58	<u>福岡モスク</u>	福岡県福岡市東区	九州	2009
59	<u>三重モスク</u>	三重県津市	関西	2009
60	いわいモスク	茨城県坂東市	関東	2009
61	日立モスク	茨城県日立市	関東	2009

62	<u>新潟第2モスク</u>	新潟県新潟市西区	中部・東海・北陸	2009
63	千葉（四街道）モスク	千葉県千葉市	関東	2009
64	川越モスク	埼玉県川越市	関東	2010
65	<u>御徒町モスク</u>	東京都台東区	関東	2010
66	瀬戸モスク	愛知県瀬戸市	中部・東海・北陸	2010
67	<u>福井モスク</u>	福井県福井市	中部・東海・北陸	2010
68	<u>埼玉モスク</u>	埼玉県さいたま市	関東	2011
69	飛島モスク	愛知県海部郡飛島村	中部・東海・北陸	2011
70	木更津モスク	千葉県木更津市	関東	2011
71	東広島モスク	広島県東広島市	中国	2012
72	豊橋モスク	愛知県豊橋市	中部・東海・北陸	2012
73	<u>熊本モスク</u>	熊本県熊本市中央区	九州	2013
74	桐生モスク	群馬県桐生市	関東	2013
75	島根モスク	島根県松江市	中国	2013
76	<u>蒲田モスク</u>	東京都大田区	関東	2013
77	<u>金沢モスク</u>	石川県金沢市	中部・東海・北陸	2014
78	鳥取モスク	鳥取県鳥取市	中国	2014
79	富山五福モスク	富山県富山市	中部・東海・北陸	2014
80	<u>鹿児島モスク</u>	鹿児島県鹿児島市	九州	2014
81	沖縄モスク	沖縄県中頭郡	沖縄	不詳
82	盛岡モスク	岩手県盛岡市	東北	2015
83	大衡モスク	宮城県黒川郡	東北	2015
84	那須塩原モスク	栃木県那須塩原市	関東	2015
85	鈴鹿モスク（名称・鈴鹿が継続）	三重県四日市市	中部・東海・北陸	2011？
86	久喜モスク	埼玉県久喜市	関東	不詳
87	野田モスク	千葉県野田市	関東	2016
88	西葛西モスク	東京都江戸川区	関東	2016
89	西千葉モスク	千葉県千葉市	関東	2016
90	甲府モスク	山梨県甲府市	関東	2016

91	佐野モスク	栃木県佐野市	関東	2017
92	相模原モスク	神奈川県相模原市	関東	2017
93	毛呂山モスク	埼玉県比企郡毛呂山町	関東	2017
94	鳩山モスク	埼玉県比企郡鳩山町	関東	2017
95	倉賀野モスク	群馬県高崎市	関東	2017
96	西尾モスク	愛知県西尾市	中部・東海・北陸	2017
97	マスジド・インドネシア東京	東京都目黒区	関東	2017
98	三原モスク	広島県三原市	中国	2017
99	東海モスク	神奈川県秦野市	関東	2017
100	和泉モスク	大阪府和泉市	関西	2017
101	綾部モスク	京都府綾部市	関西	2017
102	八幡モスク	京都府八幡市	関西	2017
103	大垣モスク	岐阜県大垣市	関西	2017
104	兵庫モスク	兵庫県神戸市	関西	2017
105	三郷モスク	埼玉県三郷市采女	関東	2017
106	三木モスク	兵庫県三木市岩宮	関西	2018
107	滋賀モスク	滋賀県草津市	関西	2018
108	静岡モスク (マスジド)	静岡市駿河区	中部・東海・北陸	2019. 10
109	新小岩モスク (マスジド)	東京都葛飾区	関東	2019. 10
110	茨城モスク	茨城県猿島郡	関東	2020. 1
111	長崎モスク	長崎県長崎市?	九州	不詳
112	太田モスク (マスジド)	群馬県太田市	関東	2020. 7
113	中津モスク	大分県中津市	九州	2020 ?
*	東十条モスク (閉鎖中) ??	東京都北区東十条	関東	2019 ?

注) 下線のあるモスクは、ウェブサイトを開設 (その他も確認中)。

3. バライインドネシア礼拝所は、98. マスジド・インドネシア東京の前身である。

21. 高松モスクは、後に、ムサッラーとなったが、その後、閉鎖。

資料：多民族・多世代社会研究所 HP (<http://imengs.com>)、「登記情報提供サービス」などをもとに筆者作成。